

夏のお楽しみ会

2 A病棟 早田智恵

2 A病棟では、7月30日（金曜日）に夏のお楽しみ会が行われました。近年大ヒット中の話題のアニメ映画「鬼滅の刃」を題材にし、前半は6名が1チームとなった「じゃんけん大会」、後半は病棟スクリーンを利用した「大型紙芝居」が行われました。じゃんけん大会では太鼓の拍子に合わせ1対1で勝負が行われました。5回連続で「あいこ」となったり1回で勝敗がつく方もいて歓声や笑い声が響き大変賑やかな雰囲気となりました。

そして照明が暗転すると後半はいよいよ、あの映画の名場面が蘇ります。声優をつとめる職員は、分厚い脚本を目を皿にして読み込んで感情たっぷりにセリフを大画面にのせていきます。利用者の皆さんは、スクリーンをじっと見つめる方、目を閉じて聞き入る様子の方など思いおもいに時間を過ごされました。まるで映画館で鑑賞しているかのような大迫力となった大型紙芝居でした。窓の外の灼熱同様、熱気が高まる夏のお楽しみ会となりました。



夏祭り

2 C病棟 師岡貴子

8月4日（水曜日）、2 C病棟で夏まつりが行われました。夏まつりと言えば金魚すくいやヨーヨー、かき氷に焼きそばと賑やかな風景を思い浮かべます。当初、2 C病棟でも的あて大会で盛り上がる予定でしたが新型コロナウイルス感染症対策の為、利用者の方々のワクチン接種が連日実施されていました。そのような理由を考慮し、急遽、落ち着いた静かな夏まつりに内容変更し実施する事となりました。

内容としては「動物とふれあう会」でお世話になっている日本動物病院協会の方より送られてきたアルバムの中の犬の写真と、夜空を彩る花火の映像を、プロジェクターを利用し大画面で鑑賞するスタイルとしました。ダイニングには提灯を飾るなどお祭りの雰囲気を演出。花火の映像とともに落ち着いたBGMも流しました。例年とはやや違う雰囲気の夏まつりとなりましたが、利用者の方々には喜んでいただけたと思います。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第524号 発行日 令和3年8月31日

夏祭り

1 B病棟 木村里佳

7月14日（水曜日）、1 B病棟では「夏祭り」を開催しました。

最初は「打ち上げ花火」ゲーム。チームカラーの紙玉を発射台にセットしたら、ゴムを引っ張って飛ばします。相手の陣地に多く入れたほうが勝ちです。うまく飛ばせるように練習したら、本番の始まりです。打っては拾い、拾っては打ち返し。お互いの陣地に残った球数を数えて盛り上がりしました。

次は「スイカを落とすな」です。緑色の大きなバルーンで風船バレーの要領です。手や足でバルーンを飛ばし、声を出して楽しみました。

最後はおやつタイム。夏祭りらしく綿あめをちぎって食べたり、ジュースを飲んだり。縁日の景品風のピカピカ光る指輪もそれぞれが選んで指にはめて、眺めて笑顔になりました。来年は、他の病棟のお友達も呼べたらいいですね。



夏祭り

2 D病棟 中河由利子

2 D病棟では、8月18日（水曜日）に夏祭りを行いました。病棟の天井には提灯風の飾りがあり、BGMもお祭りの雰囲気でした。「マト当て」、「くじ引き」、「つり」と3つのゲームがありました。

「くまちゃんランチ」という名のマト当てゲームでは、くまちゃんの口の中に果物や魚の形をしたボールを投げ入れます。1回でくまの口の中に入り景品をもらった利用者や、なかなか入らなくてオマケしてもらった利用者もいました。浴室では、キャラクター釣りゲームを行いました。好きなキャラクターの風船を竿で釣るのですが、2つ同時に釣れてしまうこともありました。



くじ引きは、カラフルな箱の中から好きな絵カードを引くと景品が出てくるというものです。それぞれのゲームを行い、景品を手にとると笑顔が見られました。

コロナ禍での開催でしたが、病棟の中で楽しいひと時を送れたのではないのでしょうか。

お楽しみ会

3A病棟 青柳絵理子

誕生会は、7月の誕生者2名の方に対し、すっかり恒例となった、スタッフのハンドベルによる「Happy Birthday to you」と夏らしい曲「うみ」の演奏を行い、メッセージと共にお祝いしました。

その後の「お楽しみ会」は、2チームに分け、「レシピゲーム」を行いました。世界の料理がテーマです。タコス（メキシコ）やボルシチ（ウクライナ）、マルゲリータ（イタリア）、茶わん蒸し（日本）など、それぞれの料理に使う材料をたくさんのカードから6枚選んでいきます。おいしそうなお料理の絵もヒントになります。

「なんだろう?」「どのカードにしますか?」「これでいいですか?」など、利用者さんと相談しながら、チームのカードを決めていきます。NGワードでの減点や加点をもらいながら、接戦の末、Tちゃんチームが優勝!! 「あー楽しかった」「またやりたいね」と大いに盛り上がり、にぎやかに7月のお楽しみ会は終了しました。



バスハイク

3B病棟 中島千絵

3B病棟では、7月30日（金曜日）に高幡不動方面へバスドライブに行ってきました。最初の計画では「むさし村山イオンモール」での買い物を予定していましたが、緊急事態宣言が発令され、バスハイクからバスドライブとなりました。



この日は昼頃、府中療育センター一帯は大変な豪雨と雷で出発が危ぶまれるほどでした。けれどもバスに乗り込む時には雨は止み、車窓から風景を見るにはちょうど良い明るさで（キラキラの太陽でまぶしすぎる日差しではなく）心配していたよりも快適なバスドライブになりました。声をかけられると満面の笑顔を見せてくれる人やバスの心地よい揺れを堪能して熟睡している人。それぞれの楽しみ方で半日バスドライブを過ごしてきました。

夏の企画

生活療育支援科 堀向貴則

7月27日（火曜日）、28日（水曜日）の2日間、生活療育支援科行事・夏の企画「センターのオリンピックを楽しもう」を行いました。東京都が緊急事態宣言中のため院内の新型コロナ感染対策フェーズ2の状況の中、なるべく多くの方が楽しめるように企画しました。

2階廊下には万国旗が掲げられ、オリンピックムードが盛り上がります。

一種目目は、パラリンピックの競技でもある「ボッチャ」。今回、利用者さんが参加するにあたり、3つの工夫をしました。

1つ目は、活動室5の天井に大型の鏡（ミラーシート）を設置して、ストレッチャー型やリクライニング型の車椅子に乗った利用者の方にも、プレイの様子が見えるようにしました。2つ目は、ボールを投げるための補助レーンを2種類用意して、車イスの特性に応じて投げやすくしました。3つ目は、オリジナルのルールを作り、ダーツの的のような得点円を作り高得点の中心を目指すようにしました。中心の最高得点の100点が出ると大きな歓声があがっていました。

二種目目は、フィンランド発祥のゲーム「モルック」。モルックという棒を、12本並んだスキットルという短い木の棒に向かって投げて得点を競います。

モルックを投げる補助具として振り子装置と、バズーカ砲の2種類用意しました。1本、高得点狙いの一撃必殺のバズーカ砲か、たくさんのスキットルをなぎ倒して得点を稼ぐか、利用者の皆さんがそれぞれ選択して、勝敗を競いました。

今回は、12チーム（10病棟、通園、通所）が時間枠を区切って参加し、2チーム単位を基本としてこの2種目を交代で行いながら得点を競いました。2種目の合計点を出し2チームのうち勝った方が賞品を受け取りましたが、負けたチームの皆さんにもボランティア団体「府中手づくりおもちゃの会」から頂いた野菜や果物のマスコットを参加賞として受け取ってもらい、皆さんそれぞれどれにしようか迷いながら、自分のお気に入りのマスコットを選んでいました。

そして、さらにこの2チームをペアとして総合計を6チームで競い総合優勝も争い、その栄誉に浴したのは、3C病棟と通所チームでした。「おめでとうございます!」。

会場ではゲームの他、多目的ホール、活動室でオリンピックにちなんだ映像やライブ映像も楽しんでいただきました。東京オリンピックに負けない熱戦が繰り広げられた夏の企画で、利用者の方の笑顔がたくさん見られました。

